

事務事業名		農作物有害鳥獣対策事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	経済部・豊田支所
総合 計画 体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	農政課・地域振興課
	政策	03	農林業の振興	係	耕地林務係・振興係
	施策	04	担い手の確保と経営安定化	内線電話	251・252・8201
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	6款	農林水産業費	計上	
	項	1項	農業費	実施期間	
	目	3目	農業振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	有害鳥獣による人的被害及び農作物被害を防止する。
現状・課題	広域電気柵設置から5年以上が経過し、老朽化により機能が低下しつつある。今後、広域電気柵の更新及び張り直しを実施し、機能の維持、向上を図る必要がある。			
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市有害鳥獣対策事業補助金交付要綱		
事務事業概要	害鳥獣による農作物被害の防止活動を実施する団体へ補助金の交付を行う。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	有鳥獣被害防止総合対策交付金の交付		1団体	
	中野市有害鳥獣対策事業補助金の交付		15団体	
	広域電気柵維持管理負担金の交付		1団体	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	10,047,000	10,499,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	10,047,000	10,499,000	10,660,000	
決算（見込）額 A			円	6,630,770	10,499,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	915,000	1,241,000	864,000
	県支出金		円			
	市債		円			
	その他特定財源		円		1,500,000	1,500,000
R2は予算額	一般財源		円	5,715,770	7,758,000	8,296,000
正規職員数		人	0.95	0.93	1.02	
人件費 B		円	6,112,300	5,991,060	6,570,840	
総事業費 A+B		円	12,743,070	16,490,060	17,230,840	
市民1人当たりコスト		円	298	388	406	

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
被害件数		減少	目標	20	20	20	20	
			成果	18	12	—	—	
			目標					
			成果				—	
成果指標と目標値を設定した理由	市内の有害鳥獣対策に努めることにより、この成果指標を目標値とし、市内の農作物被害件数の減少を図る。							

令和2年度の実施方針	重点的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	上げる
	各種団体との連携に努めるとともに、新たな防止柵及び捕獲方法の実施により被害の軽減に努める。						

